



# かのや Kanoyaの 取扱説明書

鹿屋のギモンにお答えする



## 市制施行20周年シリーズ① かのやばら園グランドオープン

平成18年に鹿屋市・輝北町・串良町・吾平町が合併して誕生した本市は、令和8年1月1日に市制施行20周年を迎えます。そこで20年の歩みをシリーズでお伝えします。

### かのやばら園グランドオープン

かのやばら園は平成5年4月に開園しました。当時は約1ヘクタールの敷地に500種6,300株のバラが植栽されていました(現イングリッシュガーデンエリア)。鹿屋市史下巻(平成7年3月発刊)には、「大変な人気である」と記されており、平成11年には約2.8ヘクタール、300種1万7,000株まで拡大されました。

平成14年には、「バラを活かしたまちづくり」のプロジェクトが始動。市民の意見などを反映させたばら園の大規模改修工事や、新商品開発などを実施しました。また、団体客の



### 恋人の聖地として認定したのは…

「恋人の聖地」として認定されているかのやばら園。選定委員には、日本初のブライダルファッションデザイナーである故・桂由美さんもいました。かのやばら大使だった桂さんとばら園の縁は深く、幾度も訪問されました。

昨年5月にも訪問が予定されていましたが、残念ながら同年4月にご逝去されました。



誘致を見越した設備増設や市内の地場産品の販売などが計画され、平成16年から整備が始まりました。平成18年4月25日、本市を代表する観光施設として、かのやばら園は約8ヘクタールの敷地に4,000種5万株(当時)のバラが植栽されるなど、これまでの約3倍の規模となり、国内最大級のばら園としてグランドオープンしました。

同時に始まった「かのやばら祭り」では、結婚式やかのやばら大使である哀川翔さんのトークイベントなどが行われ、華々しいスタートを切りました。

ばら祭りには、市民ボランティア約900人が参加し、来場者は約10万9,000人にのぼりました。20年経った今も市内外から多くの来場者が訪れる人気スポットとなっています。

8 9 3 - 8 5 0 1

POST CARD

### 皆さんからの メッセージを募集

広報誌への感想のほか、市へのご意見など多くの情報を、郵送又は二次元コードのご意見フォームからお寄せください。

ご意見の中から抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております！

※掲載時に原稿の一部を手直する場合があります。



▲ご意見フォーム

85円切手を  
お貼りください

鹿屋市共栄町20-1  
鹿屋市 政策推進課  
広報KANNOYA「読者のひろば」係 行

お名前/ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢

歳

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

クイズの答え

要・不要

